

STAGE+を楽しむ(296)(HP 収載)
—イツァーク・パールマンのヴィヴァルディー—

1. 始めに

前報(295)に引き続き、STAGE+のイツァーク・パールマンの **Complete Recordings on Deutsche Grammophon & Decca** のアルバムの中からヴィヴァルディーの作品の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のイツァーク・パールマンの **Complete Recordings on Deutsche Grammophon & Decca** のアルバムの中からヴィヴァルディーの作品の演奏を選びました。

ソリスト:

イツァーク・パールマン (ヴァイオリン)

アイザック・スターン (ヴァイオリン)

ピンカス・ズーカーマン (ヴァイオリン)

シュロモ・ミンツ (ヴァイオリン)

演奏:

ズービン・メータ指揮イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団

曲目:

アントニオ・ヴィヴァルディー

ヴァイオリン協奏曲集《四季》作品 8 第 1 番 ホ長調 RV 269 《春》

アイザック・スターン, イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団, ズービン・メータ

第 1 楽章: **Allegro**

第 2 楽章: **Largo**

第 3 楽章: **Allegro**

ヴァイオリン協奏曲集《四季》作品 8 第 2 番 ト短調 RV 315 《夏》

ピンカス・ズーカーマン, イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団, ズービン・メータ

第 1 楽章: **Allegro non molto ? Allegro**

第 2 楽章: **Adagio e piano ? Presto e forte**

第 3 楽章: **Presto**

ヴァイオリン協奏曲集《四季》作品 8 第 3 番 ヘ長調 RV 293 《秋》

シュロモ・ミンツ, イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団, ズービン・メータ

第1楽章: Allegro

第2楽章: Adagio molto

第3楽章: Allegro

ヴァイオリン協奏曲集《四季》作品8 第4番 へ短調 RV 297《冬》

イツァーク・パールマン, イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団, ズービン・メータ

第1楽章: Allegro non molto

第2楽章: Largo

第3楽章: Allegro



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換に出すため OPT ISO BOX に戻しています。

さらに、今回は PC の受信から GPS-777 クロック入力 of 修理済の Brooklyn DAC+ に送り出しています。その理由は、TruPhase の活用(26) で報告したとおり Brooklyn

DAC+が故障しましたので、TruPhase の活用(27) で報告したとおり急遽中古の Brooklyn DAC+を導入しました。今回、故障の Brooklyn DAC+の修理が終わりましましたので、USB-DAC として活用してみることにし、GPS-777 クロック入力と仮想アースの Crystal E の接続をしています。



今回の曲では、4人のヴァイオリン奏者が、ヴィヴァルディの四季の春夏秋冬のソリストを務めるというアルバムです。

シュロモ・ミンツのことを調べていますと、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団との共演で、「偉大なヴァイオリニストの集い」のヴィヴァルディの四季を弾いていると出てきましたので、拍手もあり、このときのライブ収録ではないかと思われます。

パールマンは、「冬」のソロを弾いていますが、音に勢いのある演奏です。

スターンは、「春」のソロを弾いていますが、さわやかな音色の演奏です。

ズーカーマン「夏」のソロを弾いていますが、つやつぱい演奏です。

ミンツは、「秋」のソロを弾いていますが、切れのある演奏です。

以上のように4人の特色ある演奏が聴けました。

そこで、4人の奏者の使用楽器を調べたところ、下記の情報が得られました。

アイザック・スターン（春の奏者）

楽器：ガアルネリ・デル・ジェス 1737 Panette

ガアルネリ・デル・ジェス 1740 Ysaye

イツァーク・パールマン（冬の奏者）

楽器：A.ストラディヴァリ 1714 Soil

ガアルネリ・デル・ジェス 1743 Sauret

カルロ・ベルゴンツィ 1740 ex-Kreisler

ピンカス・ズーカーマン（夏の奏者）

楽器：ガアルネリ・デル・ジェス 1742 Dushkin

ショロニモ・ミンツ（秋の奏者）

楽器：ガアルネリ・デル・ジェス『イル・カンノーネ (Il Cannone)』(1743)

楽器：ミケランジェロ・ベルゴンツィ"ex-Shlomo Mintz"(1764)

4人のヴァイオリンの音色と使用楽器の関連性に興味があったのですが、ベルゴンツィは聴いたことがなく、スターンはストラディバリウスではないかと思いましたが、はずれで、それぞれの機種を特定することはできませんでした。

4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、Brooklyn DAC+に送り出した結果、4人の奏者の個性ある演奏が聴けました。

以上